

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年6月30日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年6月30日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【個人被ばく線量値の転記誤りについて】 協力企業から「東電が放射線従事者中央登録センター(※)に報告している2020年3月分の個人被ばく線量値、1名分が誤っている」との連絡を受けた。 協力企業が作業員の放射線管理手帳を更新するにあたり、放射線従事者中央登録センターが管理している当該者の被ばく線量値と放射線管理手帳記載の被ばく線量値を照合したところ、相違していることを確認。 当社は、協力企業作業員の個人被ばく線量値を取りまとめて放射線従事者中央登録センターに報告しているが、協力企業から当社への報告値が誤っていたため、相違が生じたことが判明。 原因は、協力企業がガラスバッジの算定報告書から当社への報告書に転記する際、誤って別の作業員の値を転記したと推定。 今後、同様な誤報告が無いかを確認するとともに、再発防止対策を検討。</p> <p>※ 放射線従事者中央登録センター：放射線従事者個人の被ばく線量等を全国規模で一元的に登録・管理している機関</p>	G III	6月28日